

うらおそい歴史新聞



第26号

戦後70年 特別企画 第一弾 「チヂフチャーガマ」〜「嘉数高地」の戦跡と史跡巡り

嘉数高地は、沖縄戦における第一防衛ラインで、日本軍の重要な防衛拠点のひとつでした。嘉数高地は第二防衛ラインの前田高地と近接しており浦添の戦争を語るうえで貴重な戦跡です。

うらおそい歴史ガイド友の会では、次の日程で、嘉数近隣の戦跡と史跡巡りを実施します。皆様方の参加をお待ちしております。

【イベント概要】

○実施日：平成27年12月13（日）

9時45分から

○募集人員：60名（小学生以上。小学生は大人の同伴が必要です。）

○参加料：大人・子供ともに300円

（保険料・資料代）

○コース…

浦添市立中央公民館分館↓チヂフチャーガマ↓桃原ヌヤマ↓カンカー石↓ミーガー↓石敢當↓嘉数之殿↓村獅子↓京都の塔・トーチカ↓展望台↓陣地壕↓アグリガー↓ティラガマ↓浦添市立中央公民館分館

（全行程約2.7キロ）

※コース・ポイントは都合により変更することがあります。

【注意事項】歩きやすい服装で参加してください。また、集合場所に駐車場の確保ができません。公共交通機関を利用してご参加してください。

【申込先・問合せ先】
浦添グスク・ようどれ館（月曜休館）
電話：098-874-9345



【チヂフチャー洞穴遺跡】

牧港の安川南公園に位置する遺跡で、沖縄戦の際には避難壕として利用されていた。遺跡からは、沖縄貝塚時代の土器や貝殻のほか、岩陰墓も確認されており、さらに近世期には墓としても利用されていた。昭和61年に浦添市の史跡に指定。

11月3日の文化の日に歴史ロマン街道「尚寧王の道をたどる」を開催しました

琉球王朝文化漂う中頭方西海道。浦添グスクから首里城までの街道は尚寧王が大改修したと伝えられています。

十一月三日の文化の日に「うらおそい歴史ガイド友の会主催の毎年恒例イベント『歴史ロマン街道 尚寧王の道をたどる』を開催しました。

東京、神奈川県から、浦添市内外の参加者まで三百余名、街道沿いの史跡や文化などについて歴史ガイドの説明を聞きながら散策しました。

『歴史本で読んだり、独り散策するのとは違って、ガイドさんの説明は格別です』とは、今回参加された松本哲治浦添市長のことば。又、参加者は口々に『歴史ロマンを感じる』とのことですね』との感想を語っていました。

今回は今年の9月に新たに誕生した新人ガイドも参加し、スムーズにイベントを開催することができました。最終地点の久慶門付近で記念撮影を行いました。最後には、参加者達によるガイドへの御礼と拍手でイベントが終了しました。



【安波茶橋】

小湾川の上流に架けられた二つの石橋で、1597年に尚寧王が浦添グスクから首里までの道を改修した時に、造られたと考えられている。橋のそばには国王が普天満参詣の折に、赤い血で水を差上げたことが由来の“赤血ガール”がある。平成24年に国の史跡に指定。

浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】
午前9時〜午後5時

【入館料】

大人（高校生以上）1000円

小人（小中学生）500円

※市内小・中学生は無料

【休館日】月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】

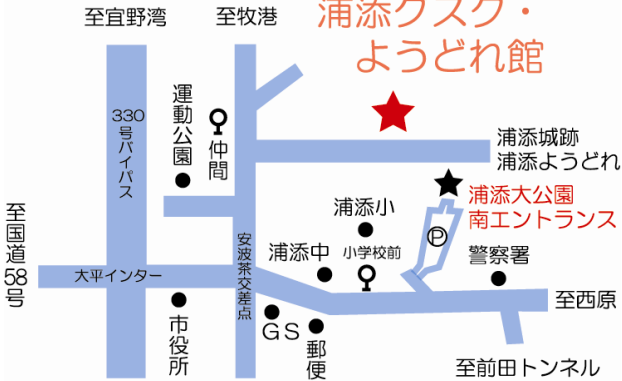
琉球バス交通 牧港線（55番）

仲間バス停から徒歩5分

※浦添グスク・ようどれ館を中心に浦添の史跡・文化財の案内を致します（有料）。時間・コースも相談できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

※浦添大公園の南エントランスにグスクや市内文化財を紹介する展示コーナーもありますので、あわせてご覧ください（ガイドの解説あり）。

浦添グスク・ようどれ館



※仲間バス停から徒歩5分